

～保険代理店に求められるRMの知識～

32

リスクマネジメント実践講座

ARICEホールディングスグループ

http://www.arice-aip.co.jp 株式会社A.I.P 代表取締役 松本 一成

◆株式会社A.I.P

平成20年7月に営業を開始し、リスクマネジメントを基本とした法人マーケット開拓と支店制度に基づいた仲間作りを推進して...

第32回 リスク評価③(5.4.4)

1. リスクマトリクスへのプロット

リスクの分析結果をリスクマトリクスにプロット(置く)して最終的な優先順位を決定するに当たり、再度以下の視点においてリスクの特性を考慮することが求められます。

1) 戦略的リスク

プラス面・マイナス面を両方持った戦略的リスクの場合は、プラス面をどう考慮するかが課題ですが、リスク対応を目的とするリスク評価については、マイナス影響のみを考慮することが多いと思われれます。

例) 為替影響が円安はプラス、円高はマイナスの場合は円高時を想定する

例) 先行投資のリスクはリターンが投資を下回るケースを想定する

例) 環境変化のリスクは対応を誤った場合の損失額を想定する

※但し、リスクにどう向き合い、対応するかといった意思決定においては、プラス影響を十分に考慮して行うことが重要です。

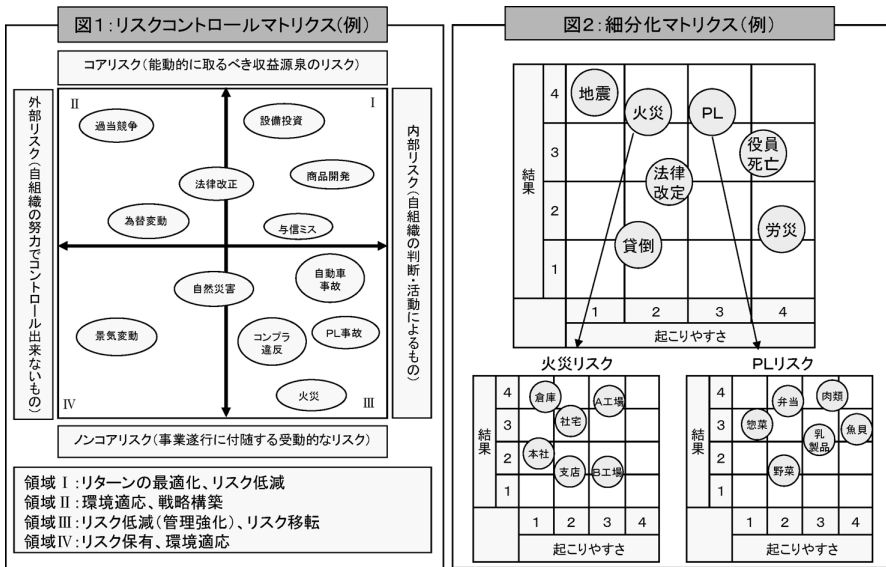
2) 派生リスク

派生リスクをどこまで含んで分析及び評価をするかは、企業毎・リスク毎に異なると考えられます。予めリスク基準として定めるのが望ましいですが、一般的には派生する可能性によって判断することが多いと考えられます。

3) リスクの細分化(図2参照)

リスクが顕在化する場所や形態等によってリスク量や対策手法が異なる場合には、一つのリスクを更に細分化して個別に評価することも必要です。それによって、対策の優先順位や打つべき対策が大きく変わることが考えられます。

・地域別分類: 複数の工場やビルを所有している企業の場合



例) 同じ火災リスクでも火気の有無や建物の構造、保管してある商品や設備の種類や量によって起こりやすさも結果も大きく異なります。

・商品別分類: 様々な製品やサービスを提供している企業の場合

例) 同じ会社で発生するPL事故でも、商品やマーケットによって起こりやすさや結果が大きく異なるものもあります。

・法令別分類: 多くの法的義務を負っている企業の場合

例) 〇〇法違反といったコンプライアンス問題も、法令によっても組織によっても起こりやすさや結果は大きく異なります。

4) 類似リスク

リスクの特徴や対応手法が類似する場合や一つの事象から連鎖的に発生するリスクの場合は複数のリスクを一つにまとめて評価することも考えられます。

①労災事故と使用者賠償責任

起こりやすさや結果の大きさは異なりますが、打つべき対策が同じなので、一つのリスクとして統合することがあります。

②PL事故とリコール

会社の姿勢として「PL発生=リコール」の場合、対策も類似しているため、統合して一つのリスクとして評価し、対応を検討することがあります。

5) 多部門のリスクの統合

複数の部門や場所にまたがるリスクで、それぞれ分析結果が異なる場合、以下のような方法等でリスク量を統合して評価する必要があります。

①平均値: 各部門の結果や起こりやすさの平均値を組織全体の評価とするため、簡便だが、各部門のギャップやユニークな評価が埋没する可能性がある。

②最頻値: 最も回答数の多い結果や起こりやすさ、リスクレベルを組織全体の評価とするため、傾向は捉えやすいが、最頻値が複数ある場合の評価が困難となります。

③加重平均: 各部門の評価に対して、部門毎の特性(組織での位置づけや売上・投資額・利益等)や重要性によってウエイトを反映させて評価するため、ウエイトのかけ方の基準を明確にする必要があります。

2. 優先順位の決定

リスク評価の最終的な目的はリスク対策を実施するための優先順位を決定することです。基本的には予め設定したリスク基準(影響度やリスクレベル)に基づきますが、以下のような要素を考慮することで更に精度の高い優先順位付けが可能となります。

1) 対策効果を考慮する

リスクの影響度だけではなく、大きな効果が期待できるリスクや自動努力で対策可能な内部リスクを優先することがあります。

2) 全社的取組の必要性

複数部門にまたがるリスクや部門横断的対応が要求されるリスク、部門別では弊害が出るリスクを優先することがあります。

3) 世論や環境を考慮する

社会問題となったり、他社不祥事で大きく報道されているリスクは事故発生時の影響が一時的に大きくなる可能性があります。

4) 対策実施状況やリスク認知を考慮する

社内外の環境変化によって新しく発現したリスクは対策が不十分で社内の認識不足も想定されるため、優先順位を上げて取り組むことがあります。

5) 組織文化を考慮する

理念や方針、全社的な戦略やプロジェクトに関わるリスクは意思統一や横断的取組がし易く、プラス成果を期待できるため優先順位が高くなる場合があります。

3. 保険代理店の役割

リスク評価の最終的な目的は組織として効果的・効率的なリスク対策を実施するために優先順位付けを行うことです。それを実現するために、リスク分析の結果のみならず、リスクの特徴を踏まえてリスクをプロットし、影響度に基づいた優先順位付けを行うと共に、そこに定性的な要因や実際のリスクコントロールの効果を考慮して最終的な優先順位を決定します。

参考文献: IS031000:2009 リスクマネジメント 解説と適用ガイド 日本規格協会

IS031010:2012 リスクマネジメント-リスクアセスメント技法 日本規格協会

リスクマネジメントの実務~ISO31000への実践的対応 中央経済社

助成金など公的支援施策情報を簡単検索

中小機構、無料iOSアプリ提供

中小企業基盤整備機構では、このほど、国や都道府県等の中小企業向けの支援施策情報を検索できるiOS (iphone) アプリ「J-Net21支援情報ヘッドライン」を開発、無料提供を開始しました。

■地域や分野別に検索 最新情報の通知機能も

補助金・助成金、公的融資、展示会・商談会、無料セミナー...国や都道府県などによる中小企業向けの支援施策はたくさんあります。「支援情報ヘッドライン」は、これらの支援施策を集めた検索システムです。『支援施策があるのは知っているけど、どこで調べてよいかわからない』『よく使っている検索サイトで支援施策を調べても、適したものが見つからない』『支援施策を調べるために、たくさんのホームページをチェックするのは時間と手間がかかる』といった声に応え、開発されました。

地域別・分野別に検索できる機能や最新の支援施策情報を即座に通知する機能もあり、会社にマッチした支援施策情報を入手できます。

実際にダウンロードしてみましたが、使い方もとても簡単です。

まず、「セミナー・イベント」「助成制度・公募」「調査・報告書・お知らせ」の3つあるカテゴリー

のうち、調べたいもののクリック(画面タッチ)します。

また、フリーワード検索機能があるので、調べたいキーワードを入力して検索することもできます。各カテゴリーの検索条件で、調べたい条件を指定して検索します。

例えばセミナーイベントでは、

①セミナーやイベントが実施される開催地を「地域を選択」から選びます。地図からも選ぶことができます。

②希望する分野を「分野を選択」から選びます。

③検索するをクリックします。

「助成制度・公募」、「調査・報告書・お知らせ」も、同じように条件を選択して検索します。

ちなみに、「助成制度・公募」で利用目的を「企業再生・事業承継」、支援制度を「税制」の選択で検索すると、『事業承継税制』『相続した事業の用や居住の用の宅地等の価額の特例(小規模宅地等の特例)』『相続により取得した非上場株式を発行会社に譲渡した場合の課税の特例』『相続時精算課税の特例』『非上場株式等についての相続税の納税猶予の特例』『事業承継円滑化のための税制措置』な

ど、20件の情報がヒットしました。

この検索結果一覧から興味のあるものを選び、タイトルをクリックすると、支援施策の概要が表示されます。詳しく知りたいときは、さらに各記事のタイトルをクリックすると、その支援施策を実施している機関のホームページのリンク先に移動するので、詳細を確認できます。

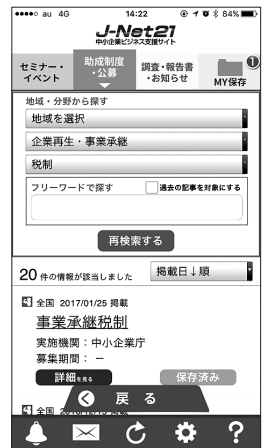
気になる支援施策を一時的に最大50個まで保存しておく機能もあり、画面右下の「My保存」をクリックすると、今まで保存したものを確認することができます。保存した支援施策の掲載期限が終了すると、自動的に「My保存」から情報が消去されるのでなかなか便利です。

最新の支援施策情報を効率的に見つけることができる本アプリは、App storeより無料でダウンロードできます(iOS 8.1以降)。



知ってトクする -887-

税務情報



アプリ使用中の画面